

## 世界史A

教科名	世界史A	単位数	2単位	学科・学年	普通科 1年
教科書名	新版世界史A 新訂版			出版社名	実教出版
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	一人ひとりが歴史と向かい合っ、世界の見方や考え方を鍛え、広い視野に立って、自分のあり方・生き方を考えながら、世界各国・諸地域の民衆・民族と共存・連帯して、世界の平和を創造していくことの大切さを学び育てていく。				
到達目標 (検定目標)	世界史に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成する。 世界史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連づけながら理解する。 学習を通して客観的に公正なものを見方を育成するとともに、広い視野から歴史を考察する。				
成績評価	定期考査・プリント問題等で、学習の定着をはかる。 課題・ノート等の提出によって、努力・関心度を評価する。 授業中の意欲・態度も含めて総合的に評価する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

## 授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	世界史へのいざない ・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	・歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付く。 ・日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付く。	●	●	●	●
5	第I部 ユーラシアの諸文明 第1章 ユーラシアの諸文明と交流 東アジア 1 東アジア世界の形成 2 東アジア世界の展開 3 東アジア世界の発展 4 モンゴル帝国と元	・東アジアの自然環境と諸民族、漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制に触れ、日本を含む東アジア世界の特質をとらえる。	●	●	●	●
6	5 南アジア世界の形成 6 南アジア世界の成立と展開 7 オリエン特世界の統一 8 地中海世界の形成	・南アジアの自然環境と諸民族、仏教の成立、ヒンドゥー教とカースト制度、イスラームの影響に触れ、南アジア世界の特質を把握する。	●	●	●	●
7	9 キリスト教の成立と発展 10 イスラームの成立 11 イスラーム帝国の分裂と多様化 12 ヨーロッパ世界の形成 13 ヨーロッパ世界の展開	・西アジア・地中海の自然環境と諸民族、古代オリエン特の遺産、古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教の成立、イスラームの成立と拡大に触れ、西アジア・地中海世界の特質を把握する。	●	●	●	●

9	<p>第Ⅱ部 一体化する世界と日本</p> <p>第2章 一体化に向かう世界と日本</p> <p>14 ルネサンスと宗教改革</p> <p>15 大航海時代</p> <p>16 絶対王政の時代</p> <p>17 西ヨーロッパ諸国の展開</p> <p>18 東ヨーロッパ諸国の展開</p> <p>19 近代ヨーロッパと世界貿易</p> <p>20 イスラーム諸王朝の成熟</p> <p>21 オスマン帝国とヨーロッパ</p> <p>22 明から清へ</p>	<p>・16世紀以降の世界商業の進展及び資本主義の確立を中心に、世界が一体化に向かう過程を理解する。その際、世界の動向と日本のかかわりに着目する。</p> <p>・大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を理解する。</p>	●	●	●	●
10	<p>第3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動</p> <p>23 産業革命</p> <p>24 アメリカ独立革命</p> <p>25 フランス革命</p> <p>26 ナポレオンとウィーン体制</p> <p>27 1848年の革命</p> <p>28 19世紀後半のイギリスとフランス</p>	<p>・産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解する。</p>	●	●	●	●
11	<p>29 19世紀後半のイタリアとドイツ</p> <p>30 東方問題と19世紀のロシア</p> <p>31 19世紀のアメリカ合衆国</p> <p>32 西アジアの変動</p> <p>33 南アジアの変動</p> <p>34 東南アジアの変動</p>	<p>・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、そのなかでの日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解する。</p> <p>・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、そのなかでの日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解する。</p>	●	●	●	●
12	<p>35 中華帝国の動揺</p> <p>36 明治維新と東アジア</p> <p>37 東アジアの変革</p> <p>第Ⅲ部 地球環境と日本</p> <p>第4章 現代世界のあゆみ</p> <p>38 急変する社会</p>	<p>・地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特質と展開過程を理解し、人類の課題について歴史的観点から考察する。その際、世界の動向と日本とのかかわりに着目する。</p> <p>・科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の受容などを理解し、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察する。</p>	●	●	●	●
1	<p>39 帝国主義と世界分割</p> <p>40 ヨーロッパ国際関係の緊張</p> <p>41 第一次世界大戦とロシア革命</p> <p>42 ヴェルサイユ体制と国際連盟</p> <p>43 戦間期の欧米と日本</p> <p>44 西アジア・インドの民族運動</p> <p>45 東アジアの民族運動</p> <p>46 世界恐慌とニューディール</p> <p>47 ヒトラーとムッソリーニ</p> <p>48 満州事変から日中戦争へ</p> <p>49 ヨーロッパでの戦争</p> <p>50 アジア・太平洋戦争</p>	<p>・帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解し、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察する。</p> <p>・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。</p>	●	●	●	●

2	<p>第5章 第二次世界大戦後の世界</p> <p>51 国際連合と冷戦</p> <p>52 ヨーロッパとアジアの冷戦</p> <p>53 アジア諸国の独立</p> <p>54 第三勢力の結集</p> <p>55 多極化する世界</p> <p>56 冷戦の終結と社会主義の変容</p> <p>57 冷戦後の世界</p> <p>58 21世紀の世界</p>	<p>・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。</p> <p>・1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解し、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察する。</p>	●	●	●	●	
3	<p>主題学習 模擬国連をやってみよう</p>	<p>・現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望する。</p>	●	●	●	●	

**【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】**

- ・教科書・ノートを忘れないようにしましょう。
- ・授業態度を大切にし、集中力を持って学習しましょう。
- ・提出物は期限を守りましょう。